



◆外電一束

電報

◇經濟欄

米國ニクレメンソオ

紐育市歡迎會席上でクレメンソオ氏曰く「余の生涯に二度迄佛蘭西が獨逸に侵略されたのを見たが此の上こなんな不吉事は見たらない其故軍備撤廢前に確固たる保障を求めるはならぬと云ふ事は米國民も同様に思考する」と又同氏は「通の書面をホタルで受取つたがその中には『當國で餘り獨立に就て云ふな』どあり死を以て脅してあつたので警察は大活動を始めた(紐育電報)

◆倫敦ニ紐育の生活費

紐育現今の生活費は戰前に比し五割

七分勝貴してゐる(紐育電報)

倫敦では牛乳や雞卵の高價な事非常で生活費は戰前の八割高である(倫敦電報)

◆支那内閣辭職

財務總長は監禁され内閣は總辭職し

(北京電報)

東京方面からの噂によると支那内閣辭職の原因は日英佛米が百萬圓の借款に應じなかつたからだと(紐育電報)

◆壞伯通商關係

壞國政府は一ソンデケートを組織し

珈琲其他伯國生産品を輸入すると共に伯國へ壞國製品を輸出せんとする計画がある(伯林電報)

◆飛行船で北極へ

アエロ・マリーン・コウボーレーン

ヨンでは十人乗の大飛行船を建進し明年三四月の候に北極へ向ける探險に上る等主要の目的は北極で狩獵をしやうと云ふのである(紐育電報)

◆賠償問題會議

プラツセルに於ける聯合國の賠償問題は十二月十五日開會を決つた(倫敦電報)

◆伊太利軍艦建造

伊太利政府は二億萬リラを支出し巡洋艦二駆逐艦二潜水艇を建造する事になつた(羅馬電報)

◆獨逸新内閣

ヴィルト内閣瓦解後組織難だつた獨逸

逸内閣はリノ氏によつて成立(柏林電報)

●伯國製工業

(二)

所

蒲團毛布

足

キロ

レース

鞄下

シャツ類

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

足

同化の真意を辨へずに同化を云々する者は、往々之を自己否定の迎合早合點したがりますが、之は思はずるも甚しいと云はねばなりません。切りに米化問題の喧傳せられつゝある北米などでは、米化を高張する餘り、極度に日本を嫌い日本人排斥し、且つ其子弟が日本語を話す事すら嚴禁して居る日本人のあるのを見ましたが、之等は自分の頭髪の黒い事も皮膚の黄色な事も氣の付かない事で、所謂頭かくして脣かくさずの滑稽を演じて居るものだと思ひます。假へ口に日本語を話さずとも、其身體容貌色調なぞが、口で話す以上に立派な日本語を語つて居る事を悟ねばなりません。殊に甚しいのになるのは其無智寧ろ憐むべきものがありません。我等は海外に於て何んなに排斥せられる云つても、黒人や支那人の様な慘酷な目に遇はざる所以のものは、實に大日本帝國と云ふ堂々たる一大國家が、我等の背後に控えて居るからである事を忘れてはなりません！我等は自己の生存上日本並に日本民族と云ふ者を忘れてならない計りか、之に對して深甚なる尊敬と感謝を怠つてはならぬと思ひます。素人考にしますと、斯る日本に對する尊敬並に恩顧の念と同化どちらい計りか、之に對して深甚なる尊敬と感謝を怠つてはならぬと思ひます。此民族的自覺云ふ事が、矛盾して居る様に思はれると云ふ事が、矛盾して居る様に思はれるかも知れませんが、それは誤想も甚しいもので、我等は日本人種であると云ふ事が、矛盾して居る様に思はれる處に優秀なる國家国民があるでせ故に、日系伯國市民として最善最良の一分子たらん事を期するのであります。此民族的自覺云ふ事があるでせうか？私は此れ迄アイヌやカナカヤ（アメリカ・インディアン等）に接し、現に伯國内にある數多の黒人を毎日見て居ります。然し其等の無自覺な亡國的民族の中に、何處に優秀なる國家の市民を見出す事が出来るですか？此隆々として發展しつゝあ

伯國文明の要素を見るに、それは新進な純伯國人を除いては、何れも最民族的自覺と誇る熾烈な英米富獨伊等の人種ではないでせうか？そして其等の國民は皆な其子弟に自國語を教へ、其國々の有する文明を伯國內に齊して其繁榮に資して居るのであります。不徹底極まる同化問題を口にする者は此生きた事實を何と見るでせう！

私は伯國位前途に驚くべき未來を有する國はないと思つて居ります。此尤大なる大自然を見ただけでも、其將來に恐るべき何ものかを物語つて居事が、明に看視せられます。然し伯國が發展するが爲には、どうしても他の人種なり文明なりの力に待たねばならぬ事は、何の點を取つて考へても直ぐ解ります。現に伯國は世界無比なる寛仁大度を以て、凡ゆる人種と文明とを受容れつゝあります。私は實にかの雄大なるアマゾン川の存在と相俟つて、伯國民の有する此の度量の中に、ブラジルの偉大な點を見出す者であります。

● 空中の征服者伯人サンントス・ヅモン氏（三）

ジャウルは『今は氣球を操縦せんとする、影法師より他には見る事が出来なかつたが、今日初めてその人を見る』と書き、全世界から祝福の賀辭が舞ひ込んで来た、その中で最も感動されたのは、現代の大發明者から、その寫真へ「空中の征服者サントス・ヅモンに對し、敬意を表すエデソン」と自書して送られた事である。

一九〇一年七月十三日六時四十一分に、航空俱樂部の委員連覧中に、易々とエツフエル塔へ船を取り、一と廻りしたのである、その歸途にかゝつて、強い風が吹き出で、余の空中船の進行を妨げたので、ロスチ

守つてゐたのだ。日が暮れて刻を迫る飢を忍びながら、自分は此時の謀を計画を調査せしめる、と云ふ事に起つて、水素製造の監督はならぬ。例へば果實にしてからが命じない。』と云ふ余の故國の諺を

試験に着手した、新たに航空俱樂部の委員速を呼び集め、余は再びエツフエル塔まで飛んだ、所が不運にもクラッシュされてしまった。諸方から避くべき

● 何故伯國の蜜柑が米國へ輸出されぬか

△ ムンリン社長伯國感想

南米航路視察の爲め、社船パンアメリカ號でブエノスアイレスへ向ふ途中で、さきごろリオへ寄つたムンリン汽船會社長、ランク・ムンリン氏は、往訪のユナイテッド・ブレンタード・ソシズ記者に、米伯貿易關係に就て、次のやうな感想を語つた。

先づ刻下急務の問題のたる、伯國貨幣價値の向上及び安定の爲には、大々的輸出の發展——殊に米國に對して——を計る必要がある。此の爲には専門家の委員會を組織し、實行第一に議すべきは、伯國輸出生産品の品質の改善及び統一にあらねばならぬ。例へば果實にしてからが

サン・トス・ヅ・モン氏

に米國は伯國産の蜜柑に對し、一大市場を提供してゐるのである、それは目下の時節は、カリフォルニアやフロリダに產しない時季だからである。蜜柑が、米國の要求するやうなタイヤを持たないからである、同様な理由で他の果實、例へばバナ、等に就ても推言し得るので、之は不可能な事ではなくて、努力の不足である。又氏はリオが將來米國旅客の心を、世界最大遊覧地として捕えるに至るだらうと云ひ、既に米伯國往復の旅客が著しく増加しつゝある事を語つた。氏は尙ほ語を次いで、サンバウロ商業會議所は、同社船のアメリカンレヂオン、バンアノリカ、サウザンクロツス、ウエスターントウオード等が往航にサントス寄港を熱望しているが、尙ほに對し満足を與ふる事が出來ない、それはブエノスアイレス着の日數を延長せしめて、乗客の希望にそむく事になるからである、然し復航には從前通りサントスへ寄港して、乗客や珈琲その他の貨物を收容する。同社では南米の肉類を、米國市場へ誘入の法を研究してゐるが、同行の副社長チエスター・ケロング氏が殊に研究してゐる。又博覽會に對しては、伯國の天惠の豊富な、従つて農工業の多種多様に涉ることに驚嘆してゐた。

因に同社長一行はパンアメリカ號で市へ向けて出發し、同地に九日間滞在の後、復航サントスに寄港上陸する。バウロを訪問の上、陸路リオに出で更に同船に搭乗して十一月十五日頃紐育歸着の豫定だと

第一 大正拾貳年度の徵集延期出  
を要する人は明治三十五年拾貳  
貳日より同三十六年拾貳月壹日  
の間に生れたる人並に徵集延期  
の人とす

第二 大正拾貳年度徵集延期願に  
付すべき在留證明願の日付は大  
貳日より同三十六年拾貳月壹日  
拾壹年拾貳月壹日以後の日付を  
入すること

第三 右在留證明願は便宜本年十  
月三日より受付く

第四 本邦への郵便は便船の都合  
甚だしく遅延すること往々  
あるに付在留證明願は成るべく速  
に差出すこと

第五 右證明方を願出づる人は手料  
料五「ミルレース」本邦への書留  
便料八百「レース」(本人所在地  
回送方希望の人は右手數料の外  
百「レース」)且又返信希望者は  
百「レース」の郵券封入事若し  
入せざるものには返信せざるもの  
を價格表記郵便(コンバロ  
ル)郵便爲替若くは銀行爲替に  
送付すること、鐵道爲替は現金  
取の際留置料として着驛より現  
受取の日まで一日に付貳百「レ  
ース」の割合にて送金額中より之  
差引かるに依り右送金者は相  
の留置料を加算し置くこと

第六 手數料は成るべく願書と同  
じて發送すべく、手數料文を別  
發送する場合は送金人の氏名、  
籍、現住所を詳記したる書類を  
入することを必要とする

第七 本年十二月始めて證明願を  
伯國上陸年月日を氏名の上部に記  
入すること

第八 本人より本籍地へ在留證明  
を發送する場合は書留郵便を以て  
し其受取書を保存し置くこと

第九 證明願は必ず貳通差出すこと

大正拾壹年拾貳月  
在サンバウロ

帝國總領事館分館  
São Paulo,  
Caixa Postal, 1167

帝國總領事館分館  
Ribeirão Preto  
Caixa Postal, 144

日本貿易株式會社

支  
Rua Candelaria, 90  
Caixa Postal, 1244  
Rio de Janeiro

シリグライ代理人  
Est. Biriguy L. NOROESTE

聖波羅土地材木殖民會社

## 種各品本目

— — — — —

東京本店 赤坂區溜池町世二  
支店 リオデジャネイロ  
ベルナンブーロ

Tel. Cent. 2788—Caixa, 34  
S. PAULÓ

# 二萬人の伊太利招來の経緯

# 聖州半官報太鼓のばち振

タス大使宛次のやうに打電した『報した通り、差當り家族構成せらる二萬人の農業者を必要とする、各毎に千人宛渡來するやうにし、吾は伊太利内地から乗船港迄、又サトス及び耕地迄の旅費を支拂ふべ耕地到着後は直ちに就業し得、而て將來尙多數を必要とする。』伊太利の移民委員デ・ミケリスへ

業近來左程八釜敷云ふものもなきれ  
である。併しながら我が國語の時  
に適せざるは一般國民の認むる所  
して早晚改良せらるべきは吾人の  
々を待たずして明らかである。  
漢字の煩雜なる之を習ふに多大な  
時を費やし所謂骨折り損の草臥儲  
なるは今更云ふ迄もなく去りとて  
方論者の如く羅馬字綴りに改めん

旅館 和洋御料理 一切  
上地彌藏 ボニータ街一一番  
郵函 一二二五  
電話 五七〇一

**LASA MERCURIO**  
rua General Carneiro, 11  
- de Cunha, 486 - S. Paulo

大工、木工、  
石工、左官  
用諸器具類  
農業用器具  
器械、殺蟻  
器、柵用鐵  
條、殺虫用

本紙前號に、伯國から伊國政府に二万人のサザエロ紙が發表しえるが如きの時報欄に之はエビタシオ政府の努力の如レオ、バカリヌタノ紙が、それは聖州政府の譯出したやうな本紙をたどりてゐる。何しろなのだから之もさうだはあるまい。

# 二萬人の伊太利

## 移民招來

△聖州

移民問題解決の爲に、努力と配慮とを常に惜まなかつた、エビタシオ政府を賞揚したエスターード紙、時報欄を補足完結せしめるのが吾人の義務である。移民問題に關しての、氏が國家に盡した仕事の顯著なる實に争ふべからざるものがある、その國家を思ふ切なる政府の努力の賜物として、吾人は伊太利この間に縦結せら

本の經緯  
半官報大鼓のばら振 ◇  
木はなんくるねう  
伊國政府は多く分るのもこめに  
人民を頼み込み、伊國政府は多く分るのもこめに  
ある事を報道した。之に就てエスターード紙  
賜物だ。此前政府の賞揚したの、半官報  
努力が、與つて大に力があるのだ。此處に  
伯國の移民問題と云へば、先づ聖州移民問題  
た方が、或は便宜ではあるまいから  
云つた、その爲に聯邦政府はそれを  
以て何等障碍を認めず、聖州が着  
する事に後援を與へる用意がなつて  
ゐた事が判つた、此會見に於て州顧  
領は、伊國北部地方から移民招來を  
就いて力を盡す事を話し、アゼベ  
ド外相は其を頗る妙案として、全土  
を盡して援助すべき旨を約した、然

く、その種子からは染料や各種工用に需要の多い亞麻仁油が製造さる、此の種子を水の中に浸して置ると一種の粘液波を分泌し、穀々濃厚人そして粘着性を帶びて来る、粉にいたものを湯でねり延ばすと、緩剤としての膏薬が出来る、よく熟した時は三十%の油を含有し、壓搾氏は碎いて搾取する事が出来る。此の油は乾燥剤で、染料に用ひらるる外に、ペルニスの印刷用インク又は酸化鉛と共に熱する時は、又乾燥剤となる。鉛粉や光明丹と余せて、蒸氣用鐵管の接着目等に塗られる。油を取つた搾り糟は、空氣六%、磷酸鹽四、五%を含み、家はの飼料として此の上もない。

業近來左程八釜敷云ふものもなきされ  
れである。併しながら我が國語の時  
に適せざるは一般國民の認むる所  
して早晚改良せらるべきは吾人の  
々を待たずして明らかである。  
漢字の煩難なる之を習ふに多大な  
時を費やし所謂骨折り損の草臥儲  
なるは今更云ふもなく去りとて  
方論者の如く羅馬字綴りに改めん  
する事亦實に容易の事にあらざる  
みか唯だ陳腐漢の漢語と邦語を取  
交せてABCの形に作り替へたる  
みにて國家に對して格別大なる貢  
もなかるべし、且つ其同音異議な  
熟字甚だ多く例へば皇國、廣告等  
行、航行、公金、拘禁等數へ來れ  
ば逆も際限な可し。無論是等  
文章や會話の前後の關係より考る

旅館  
和洋御料理 一切  
ボニータ街一一番  
上地彌藏  
郵函 一一一一五  
電話 五七〇一  
石村洋服洗濯所  
電話セントラル參貳參四  
Kua dos Lajavéeno. 236

# CASA MERCURIO

大工、木工、石工、左官用諸器具類農業用器具器械、柵用鐵條、殺虫用劑等種々特價大勉強

二が味のおをキ、の薄い  
醤油にお困りの御家庭は

ノエラス・テス・エロ・ベ・ナン・ペ・線譯

珈琲園 ヨロノ募集

卷之三

イラベエ及びチンブリイ町に近いソロカバナ線のシャバンテス及びイバウツスク兩停車場から二レグアの距離にあるコンセエイソン耕地は、土地は高燥で至つて健康地、地味は豊沃、水は好く、熱病も目病もなく、而も大部分は生産力に富んだ新珈琲樹で、住家は瓦葺で、立派な耕地なり。今期収穫が終つたら、新手入の爲に善良な家族の就働申込に應じる。豆や玉蜀黍を植ゑ得られる、新珈琲樹一千本と、豆を耕作出来るフオルマードの珈琲樹一千本と、四分の一以上の土地に耕作の出来る三千本とを興へ一千本の手入賃二百ミルレース、百二十リットル入一袋摘取販一ミル四百レース、日給四ミルレースを拂ひ支拂は毎月現金を以てし、シャバンテス、イラベエ又はチンブリイ等へ買物の爲には、耕地から無料連搬する。耕地内にはフバ製造工場がある、牛馬山羊豚等を飼育し得る牧場もある。家長にして耕地視察希望者は無料乗車券を給與する。

希望者は耕地に於ては支配人 **Duval de Moraes Aguiar** 回氏への手紙は Timbury へ又聖市に於ては Rua Direita, No. 7 Sala, 32 の **Alves Lima** 氏へ照會されたし Chavantes の Hotel Grillo で案内。運搬も取扱ふ。

亞麻と麻

亞麻と麻

新日本語

新日本語

に、有利な解決を得られる迄の道程を、非常な満足で吾人が今之を列舉するは、徒に冗長であるとしても、同時に聖州政府が、吾が農界へ伊國移民を誘入する爲に、如何に執拗であつたかを、示し得るのは吾人の喜びとする所である、實に今報道せらるゝが如き、多幸な結果を來した爲には、聖州の努力は實に大なるものであったか、その實現の爲に盡した力は、並大程の事ではなかつたのである。

エビタシオ政府の外相、アゼベエドマルケス氏が、最近云つても本年八月二十日、聖州へ來た時に、州統領と民間題に就て會見をして、聖州政府が直接に伊太利當局と交渉し、直ち電報を以て伊國官憲と交渉を開始した、交渉は極めて幸福に進行し、遂に外務省及び州統領が、最近羅馬から受取つた電報によつて、外務大臣に對して確めらるゝ如き、満足な道程に到達したのである、本月十三日ソウザ大使は、外務大臣に對して次のような報道をした、「移民を輸出するには、聖州の努力は實に大なるものであるが、その實現の爲に盡した力を有する首相と、新に會見した事を至急にサンパウロ政府へ通告されたい。電報を以て至急移民委員会に通告するが、幾何の移民を要するやうに通告する爲、余に返電され度を反復せねばならぬ。」この返電として州統領は、ソウザ・ダン

付は全然一掃して英文典に則り須要  
英葡兩語を參照して新日本語を  
り出したきものである。——何れ  
國語を改むことは畢竟  
難事である。然れども國民舉つて  
事業に賛同し銳意事に從はんか  
年にして目的の半に達し三十年に  
て九分通り成就し五十年にして左  
は全く葬り去らるゝに至りませ  
予は昨今漸く葡語を學び始めた  
なるが聊か所感を述べ大方諸士の  
教示を仰ぐ次第であります。

好く、熱病も目病もなく、而も大部分は生産力に富んだ新耕種者で、住家は瓦葺で、立派な耕地なり。本期収穫が終つたら、新手入の爲に善良な家族の就働申込に応じる。豆や玉蜀黍を植ゑ得られる、新珈琲樹一千本と、豆を耕作出来るフォルマードの珈琲樹一千本と、四分の一以上の土地に耕作の出来る三千本とを與へ一千本の手入賃二百ミルレース、百二十リットル入り袋摘取賃一ミル四百レース、日給四ミルレースを拂ひ支拂は毎月現金を以てし、シャバンテス、イラベニ又はチンブリイ等へ買物の爲には、耕地から無料運搬する。耕地内にはフバ製造工場がある、牛馬山羊豚等を飼育し得る牧場もある。家長にして耕地視察希望者には無料乗車券を給與する。

希望者は耕地に於ては支配人 **Duval de Moraes Aguiar** 回氏への手紙は Timbury へ又聖市に於ては Rua Direita, No. 7 Salg, 32 の **Alves Lima** 氏へ照會せられた Chavantes の Hotel Grillo で案内も運搬も取扱ふ。

(三) 在の妻の夫の手紙

K先生、激しい風雨の中にも一寸の小止みがあるやうに、妻の苦しいのみの裡にも過去一箇年間は比較的樂しい日を過したのでした。否樂しいと云ふより寧ろ左程苦痛を感じなつたのかも知れません。(中略)Nへ現紹に渡伯した實兄等夫婦に某耕地で近かれ獨りになつたNは致方なく實姉である此の家を頼つて來たのでした。其の頃私之心は誰人かの最も心からの優しい慰安を求めて止みせんでした。最初姉は彼の夫人Nを單に頼る人達に近かれた同情を可さ人とのみ思つてゐたに過ぎませんでした。けれどもこれは無思慮なせんでした。が當然辿る可き路だつたのでしようと思えどもこれはなんど云ふ愚者だつたのでございましやう。盲目的な戀に執狂してゐたのでござります。戀! 妻等二人の仲は何時しか甘い囁きを交す仲となつてゐたのでした、あくまでも單に戀愛の情のみによつて何等の理解もない妻等の結婚は遂に永久の幸福を意味するものではございませんでした。何時か智?に覺醒た妻等の仲には暗い爭闘と嫌惡のみが追加されたり過ぎませんでした。(中略)愛の結晶とも云ふの仲を所謂子を錠に僅に繋がつてゐる位い悲惨な事實が又と他にあるでしょうか?

K先生、矛盾した事を申すやうでございますが、妻は何時迄でも、其の半生を犠牲にしても、この純眞な幼兒の母としてゐたいと思ふのでござります。先生、凡そ世の中に夫婦の仲を所謂子を錠に僅に繋がつてゐる位い悲惨な事實が又と他にあるでしょうか?

K先生、矛盾した事を申すやうでございますが、妻は何時迄でも、其の半生を犠牲にしても、この純眞な幼兒の母としてゐたいと思ふのでござります。Nから強硬に離別を乞はるれば乞はれるだけ子に對する愛着の念は妻に燃えたつのでござります……

或る女の手紙

子は既う指先さが痺れて筆が少しま  
動かなかつた。Nが子迄である仲の強  
て離別を要求する背後に養父の使  
嗾のあることは無論知らなかつた。  
（或は自身もR子の養父の賤劣な野體  
的官能性に因る、殘忍な陰謀である  
ことは氣附かないのか知れない。輝か  
しい清淨な而し可憐な女性の愛と懐  
みを無視した、情慾の專横の裡にこ  
の殘忍な陰謀の餘に歩を進めつゝあ  
るのを氣味悪い笑を洩らして眺めつ  
ゝある惡魔があるのだ。完二、一、二  
時報歌壇

紙屑の中から

古手紙片着けてゐた五年前に日本全國に  
大暴風雨が襲來し、關東一圓は殊慘害を被つた  
の當時私の祖父が作つて、手紙の端へ書いて  
寄へした一つ三ヶ節が出て來た、今年も關東に  
は暴風雨が襲來する（云ふの思ひ出でる）帆  
そ古過ぎる觀はあるが御披露する事にする（帆  
大正六年十月一日 大嵐と諸品高價御笑草  
新版 一ツトセ節 房州北條町 杉山久矩

紙屑の中から

何の因果で此の難儀  
四ツトセ宵からそよ／＼風強き  
嵐にならうとは氣がつかぬ  
ねごみつけこむおふあらし  
五ツトセ異國のいくさに日本では  
諸品ねあげてなんざする  
いつねさげのみこみなし  
六ツトセむやみに値上げで腹が立つ  
いつまで其儘おきはせん  
人のおもいはおそろしや  
七ツトセなんに限らずたかくうる  
あきんざにあつては叶はない  
一番なんざは月給どり  
八ツトセ病も辛いがひんもいや  
安樂世界へ参りたや  
九ツトセくしやはの國をあとに見て  
汽車や汽船でながの旅び  
あんらくせかいで大祝ひ  
十トセとりこむばかりに手をつくし  
わづかの時間にめちや／＼に  
泣き／＼こりこむいねのあき  
十一トセいつまでこんなくろうして  
いつ安樂になるのやら  
泣いても足りないこのくしやは  
十二トセにしきも着ないでほさを着て  
朝から晩まで働いて  
くうやくはずでのなんざ  
十三トセ三升の米ではやりきれぬ  
やうが、お前のやうに女奴隸なの  
お前さんだつて、今日は此處にあるわ  
つても、明日は何處にゐないと阳  
らない、と云ふ事を忘れちやあなた  
ないわよ。まあ仕事をしませうよ、  
之が妻共の務めなんだわ、こんな手  
らない話はもうおやめ、ね。」  
怡度其の時、三時から四時の間の  
奴隸達に夕食を知らせる、鐘の鳴  
響ひて來た、女奴隸共は蘇み返つた  
やうに、仕事を描いて立ち上つた。  
然しイサウラは身動きもせずに、餘  
念なく糸を紡ぎ續けてゐた。  
ロオザは嘲弄のそぶりしてかう  
つた。

三度の食事も二度になり  
かせぐにびんぼうさきにたつ  
**十四**トセじしんかみなり火事あら  
大ばく根こぎとちうおれ  
家のそんじはかづれす  
**十五**トセことのこしを早おくり  
あくまはらつて身のいわい  
朝から晩までのみつづけ  
**十六**トセ六十餘州の神様が  
出雲の國へおあつまり  
人民たすけの御評定  
**十七**トセ質ぱちおいてもやりきれ  
田地田畠賣拂ひ  
泣き日々の日をおくり  
**十八**トセ八十九十の年よりの  
おぼへぬことしの大あらし  
じみようちぢめのおほなんざ  
**十九**トセくしやばの今年ももうは  
晦日もようやくこきぬけて  
どしがかわつていわひます  
**二十**トセ二度あるまいおふあら  
いくさもしづまり來年は  
天下太平でおめでたや  
**話の種**  
▲世界で一番高貴なダイヤモンドは  
伯國のバガジン河で見發された『ラ  
ジア・デ・マタン』と命名されたま  
での百二十五カラットある  
▲植物の種類の知られてゐるもののは  
いの、それに仕事を速く始めたから  
少しはかぞらせやうと思ふの』  
娘さんは、奴隸共の大釜からは食べ  
られないわ子、如何でござんす、肉  
汁かチョコレートでも、持たして客  
越しませうですか、ハ、ハ、ハ。』  
『チヨツ、お黙りよ、おしやべりだ  
ね！毒蛇みたいに口が悪い……構は  
た一人残つたイサウラは、仕事の手  
を運ぶ、とよりはちいつと思出に附  
けるのだった、小さな裸足で車の跨  
板を、器械的に廻すと細い指先から  
さがして糸を延びて行く。

伯刺西爾時報取次所  
旅館成功館  
古謝將義  
Largo 7 de Setembro, 15  
Tel. Central, 2008, Santos  
本社營業部へ近着の雑誌中賣物が  
りますから御購求御望みの方は左記ある  
種類中何々と御指定の上代金を差し  
て至急御注文を願ひます  
但し賣切れの場合は次着の分にて  
埋合せの事と御承知ありたしに  
實業の日本二、七八月號 各二、四〇〇  
同 中央公論 七月號 四、八〇〇  
農業世界 二月號 六、四〇〇  
太陽 二月號 四、八〇〇  
文藝俱樂部 七月號 四、八〇〇  
講談雑誌 五六七月號 各一、四〇〇  
小學女生 五月、六、七月號 各一、四〇〇  
八月特別號 各一、四〇〇  
五、六月號 各一、四〇〇  
八月臨時增刊 三、五六六月號各一、四〇〇  
三、七、八月號各一、四〇〇  
幼稚年友 三四、五六六月號各一、四〇〇  
四、六八月號各一、四〇〇  
以上  
◆日本人に對する法律事件の相談  
辯護士 ジョアキン・デルフィノ  
事務所 總領事館同建物四階十四號室  
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz  
L. da Sé, 3, 3. andar Sala, 14 S. Paulista  
Rua Sebastião Pereira, 3  
Tel. 57-99  
伯刺西爾時報社營業部  
大工入用  
家具製造に經驗ある大工三四名  
至急入用に付き希望者は左へ御  
申込まれたし  
申込  
家具商 菅 平 吉





